

(表)

様式第1号(第4条関係)

福島市営住宅等入居申込書

申込団地	団地	号室	前回までの申込回数 市営 回・県営 回		年 月 日		
申込者	本 籍						
	現 住 所						
	ふりがな 氏 名		自宅又は 携帯電話				
	勤務先(名称)		電 話				
入居希望する世帯員 ※氏名の下の欄に個人番号を記入してください。	氏 名	続柄	年齢	生年月日	同・別居	勤 務 先 (派遣先)	障害の程度
	個 人 番 号						
		本人		T・S・H・R			身体・精神 ____ 級 療育A・療育B
				T・S・H・R	同・別居		身体・精神 ____ 級 療育A・療育B
				T・S・H・R	同・別居		身体・精神 ____ 級 療育A・療育B
				T・S・H・R	同・別居		身体・精神 ____ 級 療育A・療育B
				T・S・H・R	同・別居		身体・精神 ____ 級 療育A・療育B
				T・S・H・R	同・別居		身体・精神 ____ 級 療育A・療育B
				T・S・H・R	同・別居		身体・精神 ____ 級 療育A・療育B
				T・S・H・R	同・別居		身体・精神 ____ 級 療育A・療育B
				T・S・H・R	同・別居		身体・精神 ____ 級 療育A・療育B
	遠隔地扶養者	氏 名	続柄	年齢	生年月日	住 所	
個 人 番 号							
現在の住居	1 アパート・公社・借家・公営住宅・社宅・官舎・寮・その他(家賃 円)						
	2 実家に同居・持ち家 __畳×__室 __畳×__室 __畳×__室 台所 __畳						
過去に公営住宅に住んだことがありますか。 1 ない 2 ある( 年 月～ 年 月)			申込者及び同居しようとする者に暴力団員が 1 いる 2 いない				
上記のとおり相違ありませんので、関係書類を添え市営住宅等の申込みをします。 なお、この申込書の記載内容が事実と相違するとき、又は申込者若しくは同居しようとする者が暴力団員であることが判明したときは、入居が許可されなくても異議を申し立てません。							
年 月 日			氏 名				
福島市長			Ⓢ				

※ 所得審査

月額所得 = (      -      ) ÷ 12 =      円 → 月額家賃      円

(裏)

住宅困窮理由申告欄(該当欄の番号を○で囲んでください。)

1 現住宅が住居として不適當である方

1	極度の老朽で倒壊のおそれがあり保安上注意されている。
2	保安上注意されていないが、極度に老朽している。
3	採光、通風、排水等が特に不良で不衛生である。
4	台所、便所、給水設備とも共同使用である。
5	4の設備のうちいずれかを共同使用している。

2 住宅がないため家族と別居している方

1	妻又は夫と別居している。
2	扶養しなければならない親又は子と別居している。
3	扶養しなければならない兄弟姉妹と別居している。
4	扶養しなければならない上記以外の親族と別居している。
5	婚約は成立しているが住宅がないため結婚できない。

3 住宅がないため他の世帯と同居している方

1	親族以外の世帯と同居して著しく生活の不便を受けている。
2	親族の世帯と同居している。 ( 人)

4 住宅が狭いと感じている方

1	1人あたり2畳以下である。
2	部屋が1室だけである。
3	部屋が足りない。

5 立退きを要求されている方

要求日 \_\_\_\_\_

1	裁判所の判決によって決定したもの
2	官公舎、社宅に居住し世帯主の死亡又は退職による要求
3	母子生活支援施設入所の措置が解除になった方
4	通例一般的な要求

6 遠距離通勤である方

通勤時間 片道 時間

7 その他特殊事情

1	公共事業、公共の福祉のため立退きを必要としている。
2	市長が必要と認めている方
3	1室を必要とする長期療養者のための室がない方
4	火災その他災害によって住宅がない方

8 上記以外で特に困っている事項を記入してください。

※子育て定住支援賃貸住宅に入居をご希望の方は、平成23年3月11日時点の居住地を記載してください。

福島市

同意書

福島市長

年 月 日

申込者氏名

Ⓢ

私及び同居しようとする者が、暴力団員でないことを福島県警察本部へ照会することに同意します。